

令和4年度「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」 くらぶち草の会（高崎市）が 農林水産大臣賞 を受賞！

農林水産省主催「令和4年度『未来につながる持続可能な農業推進コンクール』有機農業・環境保全型農業部門」において、くらぶち草の会が農林水産大臣賞を受賞し、以下のとおり表彰式が開催されます。

1 表彰部門・受賞者

<有機農業・環境保全型農業部門>

農林水産大臣賞 くらぶち草の会（高崎市）

※取組の紹介は別紙

2 表彰式

日時：令和5年3月6日（月）午後2時20分～午後5時（予定）

場所：農林水産省 本館7階講堂（東京都千代田区霞が関1-2-1）

3 コンクールの概要

- 農林水産省は、農業生産活動の持続性を確保するため、農業の自然循環機能を活かし、農業生産に由来する環境への負荷を低減する取組として、また、食料の安定供給・農業の持続的発展と地球の環境保全の両立に向け、有機農業をはじめとする環境保全型農業を推進しています。
- この一環として、持続可能な農業の確立を目指し、意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を「有機農業・環境保全型農業部門」と「GAP部門」の2部門で表彰しています。

4 その他

- くらぶち草の会が応募するにあたり、環境負荷低減や人材確保・育成等に顕著な成果を上げている団体として、本県が推薦しています。団体概要については、西部農業事務所へお問い合わせください。
- くらぶち草の会の過去受賞歴
「第6回環境保全型農業推進コンクール」農林水産大臣賞（平成12年度）

くらぶち草の会

有機農業・環境
保全型農業部門

農林水産大臣賞

所在地：群馬県高崎市

面積：72ha

構成員：44人

栽培品目：ホウレンソウ、キュウリ 他 60 品目

取組の紹介

【環境負荷低減に資する取組の推進】

- 1988年に、農業者3名で無農薬、無化学肥料栽培への取組を開始。人材育成を通じて、構成員44名、72haを営農する団体まで発展。
- 「土づくり」を栽培の基礎とし、家畜ふん尿（牛・豚・鶏）、茶粕、きのこ菌床、コーヒー粕など地元で手に入る資材を用いた堆肥を利用。堆肥製造に係る勉強会を開催し、堆肥の質の向上・平準化に取り組む。
- 全会員が参加する生産計画、ほ場準備から出荷に係る研修会を月1～2回（年15回）実施し、地域全体での技術を底上げすることで、ベテランの有機農業者は慣行と同程度の収量を、地域全体でも慣行比約8割の安定した生産を実現。



堆肥勉強会の様子

【人材確保・育成の取組の推進】

- 2003年に市の補助により、倉渕地区に滞在型の研修施設を整備し、安心して生産から出荷調整まで学べる環境を整備。
- 新規就農者が多数参加する「新・農業人フェア」のブース出展や、オンラインでの就農相談会を開催し、関心を示した就農希望者に対する農業体験を実施（年間4回）することにより、人材の確保に積極的に取り組む。
- 研修中は、生産から出荷に係る技術に加え、農地や空き家の確保、地域住民との交流なども積極的に支援。
- 研修後も、研修生と受け入れ農家は親子のようなものと考え、新規就農者を頻りに訪問し、孤立させないようにフォローするとともに、販路開拓は会が担うことで、新規就農者が生産に集中できる環境を整備。これにより、農業経営に関する離農率ゼロを実現。
- 県内外の新規有機農家の受け入れ態勢を充実させることで、現在、構成員44名のうち半数以上が倉渕地区以外から倉渕に移住定住しており、地域ぐるみでワークライフバランスの充実を図りつつ、継続的な有機農業経営を実現。



農閑期の機械整備勉強会



滞在型研修施設

【安定出荷等の取組の推進】

- オイシックス・ラ・大地（株）等の販売事業者との契約に基づく計画生産により、安定した所得を確保。
- 会員の共同出資による予冷・集出荷施設を設置しており、野菜の鮮度維持を図りつつ、ロットの確保による効率的な出荷を実現。

HP・SNS等

HP: <http://kusanoKai.main.jp/>